
2007年度冬学期 第7回 物性セミナー

「完全計数統計による非平衡統計力学へのアプローチ： 量子輸送現象、揺動散逸定理 etc」

講師 齊藤 圭司氏 (東大理)

日時 2008年1月25日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

近年、平衡から遠い領域での物理現象が理論実験ともに盛んに研究されるようになってきた。非平衡統計力学の最近の進歩とあわせ、メソスケールの熱伝導や電気伝導の実験を紹介しながら完全計数統計の枠組での量子輸送現象の普遍的性質を考察する。揺らぎの定理がメゾ系の電子輸送では非常に重要な役割を果たし実験的に測定可能な非線形輸送係数間の普遍関係式が導けることを紹介する。また時間が許せば、同じ枠組で議論が可能な、揺動散逸定理の破れとその補正、に関する話も合わせて行う。

今後の予定

2月1日 橋本 幸士氏 (理研)

「D ブレーン：超弦理論の高次元物体が描く世界像」

物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人：加藤雄介
福島孝治
藁口友紀
堺 和光